

いました。翌日、私は顧問の佐々木弘善先生に相談すると、先生は「女子を3人集めたら女子部を作るよ」とおっしゃつてくれました。すぐに3人集まり、晴れて女子剣道部が誕生。徐々にいじめも遠ざかりました。

6年生の終わり頃、叔母のような体育教師になりたいという気持ちが芽生えたので、「塾に通わせてください」と父にお願いしたら、「勉強嫌いが塾に? 明日雪が降る」と言われ、本当に雪が降りました。

そして登米市立佐沼中学校に入学しました。

氏家良人先生を皮切りに佐々木洋一先生、佐藤幸一郎先生、鈴木寿朗先生、熊谷敏明先生、米倉毅先生と、たくさんの方に剣道を教わりながら、塾でも勉強をする毎日が始まりました。氏家先生からは「石垣のないところに城は立たない。曲がるな、真っすぐ打て!」と毎日のように「基本」の大切さを厳しく教えられました。



●プロフィール
鈴木 由香（すずき・ゆか）

1971年生まれ、宮城県出身。東海大学体育学部武道学科卒業、同大学大学院体育学研究科体育学専攻修了。山形県立左沢高等学校、東海大学で剣道日本一に輝く。大学卒業後、会社員を経て2010年、東京・世田谷に「十坪ジム経堂」を開設。13年からQ O Y 合同会社代表に就任し、現在に至る。

22年から恵泉女学園中学・高等学校剣道部監督に就任。

高校は山形県の左沢高校に進学しました。左沢高校の斎藤学先生から「日本一を目指さないか?」とスカウトされ、迷いなく進学を決めました。私が入学した年には貝田裕昭先生が副監督に就任さ

れ、中学時代の倍ほどの稽古、遠征に明け暮れました。1年時はインターハイ準優勝、2年時はインターハイ3位と日本一まであと一步でした。しかし3年時は県予選で敗退してしまいました。その悔しさをバネに挑んだ北海道のはまなす国体では、初種目となつた少年女子団体で

優勝し、初めて日本一になりました。あの時の嬉しかった気持ちは今でも忘れられない思い出となっています。

バーンアウト

大学は東海大学体育学部武道学科に進学。剣道界屈指の指導者である橋本明雄先生、網代忠宏先生、金木悟先生、吉村哲夫先生、平川信夫先生、高橋清先生、当時は退職されていた井上正孝先生も定期的に稽古にお見えになり、専門性の高